

# 日台ヘルスケア・介護オンライン技術発表会

主催：台湾日本関係協会科学技術交流委員会 指導：經濟部技術処 執行：財団法人中華經濟研究院

「高齢化の進展」はすでに世界の産業の発展と社会の変革の主な要因の一つになっており、新しい関連産業の創造とスマート科学技術の応用は、社会の変革をもたらすのみならず、経済活性化の主な源泉にもなっている。台湾は2018年に高齢社会（65歳以上の高齢者人口が14%を超える）になったが、2026年には超高齢社会（20%を超える）に突入する。高齢社会から超高齢社会になる期間がわずか8年に過ぎないことは、台湾の高齢化のスピードが欧・米・日等の先進国を超え、言わば「急速に高齢化する社会」になったことを意味する。近い将来、台湾は超高齢社会の進展がもたらす医療ケアニーズと費用の急速な増加、人手不足、それに医療ケアの品質を向上させるのと同時に、いかに合理的なサービスのコストを維持するのかといった問題に直面することは避けられず、このことが台湾経済の中長期成長にとってボトルネックになるであろう。これに対し、日本は十数年前に超高齢社会に突入し、スマート医療・ケアの技術の普及と活用がより進んでおり、例えばAI医療機器と応用、AI免疫治療、スマートホスピタル、地域的スマートヘルスケアシステムの構築等、台湾は参考にし、協力もできる。

日本のスマートテクノロジー（ロボット、IoT、AI、ローカル5G等）を社会生活面（ヘルスケア、モビリティアシスト等）にのり日台共同開発や台湾への導入を図り、台湾日本関係協会科学技術交流委員会は經濟部技術処の指導の下、日本のスタートアップ企業とのオンライン技術交流及び商談会（8/31）を開催する。この貴重な機会に、奮ってご参加ください！

- 主催機関：台湾日本関係協会科学技術交流委員会
- 指導機関：經濟部技術処
- 執行機関：財団法人中華經濟研究院
- 開催日時：2020年8月31日（月）10:00～15:30（日本時間）
- 会議ツール：Cisco Webex（事前に各企業にリンクをお知らせいたします。）
- 台湾参加者：約30名（産学関係者）
- 発表時間：一日本企業につき プレゼン 30分+質疑応答 20分（日本4社、台湾1社）（逐次通訳）
- 問合せ先：中華經濟研究院東京事務所 担当者：楊 電話：03-5765-5821 katie@cier.edu.tw

時間	内容
10:00-10:15	関係者によるご挨拶
10:15-10:30	株式会社 HUMAN LINK 津崎様よりご挨拶及日本企業3社のご紹介
10:30-11:20	<b>日本1社目：株式会社 aba. Helppad</b> -臭いで尿漏れを感知しておむつの交換時期をデータ化するという仕組みです。
11:20-12:10	<b>日本2社目：株式会社 ERISA</b> -fMRI（脳の画像）を使って、AIが認知症かどうかのリスク検査をしてくれるというものです。こちらは注目されていて中国大陸でも賞を取っています。
12:10-12:50	<b>台湾1社目：龍骨王株式会社（40分）</b> -リモートヘルスケアシステムにより、患者または高齢者は自宅或は医療センターで健康増進トレーニングを受けることができます。医療関係者または長期介護者は、クラウドを介して同期的に症例を管理し、時間、スペース、流行病の制限を打破し、医療資源の地域的偏在や人力不足の圧力を緩和することができます。
12:50-13:50	LUNCH
13:50-14:40	<b>日本3社目：NOVARS 株式会社. みまもり電池</b> -リモコンに入れる乾電池を彼らの「MaBee みまもり電池」に変えるとアプリなどで利用状況が把握できて、見守りができるというユニークな仕組みです。
14:40-15:30	<b>日本4社目：株式会社 WELMO</b> -AI・ICTを活用したケアプラットフォームサービス

注：主催機関はプログラムを変更する権利を有します。